



羽村市立栄小学校

学校だより No.2

令和8年5月1日

子供たちの「安全」を守るために

校長 杉森 祥吾

若葉がいっそう鮮やかに輝き、さわやかな風が心地よい季節となりました。新年度が始まって一か月が過ぎ、子どもたちは新しい学級や友達にも徐々に慣れ、落ち着いて学校生活を送る様子が見られるようになってきました。登下校中に旗振りボランティアで立ってくださる方や先生方に、元気な声で挨拶する姿、そして授業に落ち着いて参加する姿からも、よいスタートが切れたことを実感する今日この頃です。

さて、最近地域・保護者の皆様と関わらせていただく中で、多くの方が話題に上げ、心配されていたことがあります。それは、「子供たちの安全な生活」についてです。実は、全国的にも児童が対象となるニュースが数多く報道されていることもあり、まさに学校でも現在全職員で危機感を高めているところです。そこで、改めて今回は「学校と安全」について、その考え方や取組についてお知らせいたします。

子供たちの「安全」を脅かすものは、多種多様に存在します。そのため、学校では主に「①生活安全」「②交通安全」「③災害安全」の3領域に分け、年間を通して計画的に指導しています。そして、危険が「いつ・どこに潜んでいるのか（安全に関する知識）」、「どうすれば危険を避けられるか（危険の回避・予防）」、「もし、危険に遭遇したらどうすればいいか（身を守る実践力）」を学び、子供たち自身が自らの命を守る行動ができることを目指します。加えて、安全を守る運営システム（「保護者地域の皆様と連携した登下校中の交通安全体制」「出欠席及びお子さんの所在の確認体制」「けがを予防する定期的な施設安全点検」「食物アレルギーのダブルチェック体制」「不審者侵入時の対応」等）を構築し、徹底を図るとともに、全職員が研修と訓練を受け、様々な場面に対応できるよう体制を整えています。

5月は、7日(木)の「セーフティ教室」を皮切りに、12日(火)の「一斉下校訓練」、13日(水)の「交通安全教室」、26日(火)の「インターネット・携帯電話犯罪防止教室」と安全に関する取組が多数計画されています。子供たちへの指導の充実はもちろんのこと、保護者・地域の皆様と連携し、改めて、かけがえのない子供たちを守ることができる学校作りを進めて参ります。

来週には、4月を精一杯頑張った子供たちが楽しみにしているゴールデンウィークが始まります。ぜひ、ご家族で楽しい思い出を作りながら、安全についても話題にいただけたら幸いです。安全の確保には皆様との連携が不可欠です。今後とも、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。